



066 陰茎H&E染色 (男性生殖器)

ヒト陰茎体横断面。腹側の尿道海綿体①と背側に対性の陰茎海綿体②が観察される。陰茎海綿体周囲には厚い白膜③が観察され、中央部には④中隔が有り、左右の海綿体を不完全に分離している。本標本は陰茎体の先端部に近い領域の標本であり、陰茎深動脈⑤は分岐してその末端しか観察されない標本も多い。海綿体は海綿体小柱が有り表面は内皮で被われ、小柱自体は平滑筋を多く含む fibromuscular stroma の構造を取る。時として小柱の中に小型のラセン動脈が観察される。

尿道海綿体は中央を尿道⑥が貫く。尿道海綿体の白膜は陰茎海綿体に比べ薄い。男性の尿道上皮は重層円柱上皮からなり、時折、陥入した憩室や小粘液腺（尿道腺）⑦が観察される。